

若手職員の日

本省職員の日(1)

職業安定局障害者雇用対策課調整係(平成22年4月入省) **山口 真司**

登庁

帰りが遅かった次の日の朝は、自分の席で缶コーヒー(たまにお茶)を飲みます。缶を開けた瞬間の苦い香りが気持ちをぐっと引き締めます。

9:00

9:30

作業依頼の確認など

作業依頼が来ました。今回は、厚生労働白書の執筆依頼で、「障害者雇用対策」の箇所の執筆を担当します。まず、調整係で大まかな構成を考え、各係にどのようなことを書いてもらうかをイメージし、そのイメージを担当の係に直接説明します。「よしわかった!」と言ってくれることもあれば、「そんなんじゃ受けられないぜ!」と言われる場合もあります。

11:00

業務開始

調整係とは、かつてよく言えば課の「司令塔」です。外部や他の課室から来た作業依頼(パスを受ける)を課内の担当の係に仕事をしてもらうよう依頼をします(パスを出す)。そのあと、担当の係が作業した成果を調整係で受け取り、その作業に漏れがないかを確認したり、よりよい成果物になるよう担当の係との相談などをします。最終的には、その成果物を上司に見せ、外部などに提出(シュート)して、一つの作業が完了します。つまり、自分が中心となって、仕事(ボール)が動くわけです。



係長への報告

係員単独で完結する仕事はほとんどありません。係長以上に説明し、了解を得ることで初めて仕事の成果となります。

自分の考えた案は上に見てもらう段階で、大幅な修正が入ることもよくあります。自分の案の原型がなんだったのかわからなくなるくらい修正が入ると、ショックを受けますが、修正部分を見て、自分の何が甘かったのかを考えるようにしています。

12:00

昼食

自分の机で食べることも多いですが、たまに同期と銀座当たりに行くこともあります。

なるべくメンバーが固定しない方が、いろいろな話が聞けて新鮮です。仕事の話だけでなく、プライベートの話で盛り上がるのが一番の気分転換です。

15:00

17:00

上司からの厳しいお言葉

×切り間近まで上司に報告していなかった作業がありました。その結果、上司からスケジュール管理のなさについて30分間怒られました。一言一言が非常に勉強になるので、メモを取り、家で5回復唱します。同じミスを繰り返さないことが重要です。



国会待機

退庁時間ですが、本省の職員には、委員会等がある前日に委員の質問に備えて待機する国会待機というものがあります。待機している間は、昼間に係から提出してもらった作業の成果物の確認やそれ



に関連する勉強をして、次の日上司に説明するための準備をします。仕事をしていると、時間がすぐ経ってしまうから驚きです。

18:15

22:00

退庁

国会待機が解除されました。今日中にやらなければならない仕事が終わったので、今日は早めに家に帰ります。

